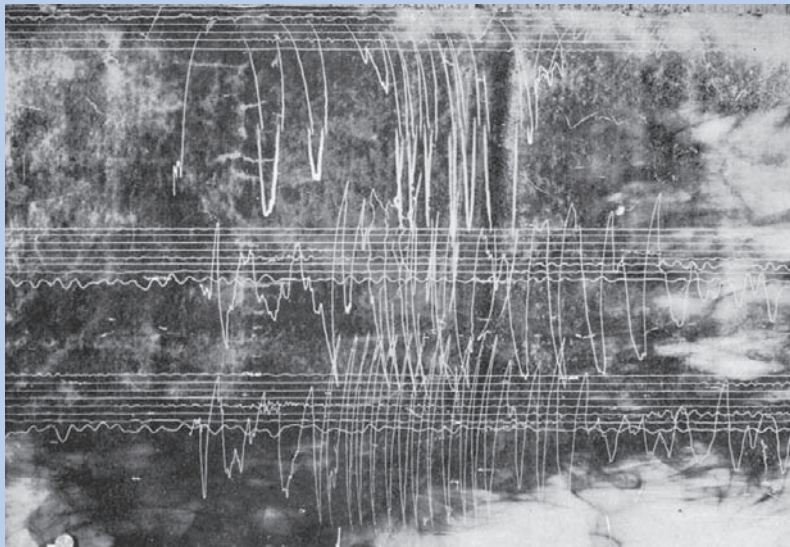


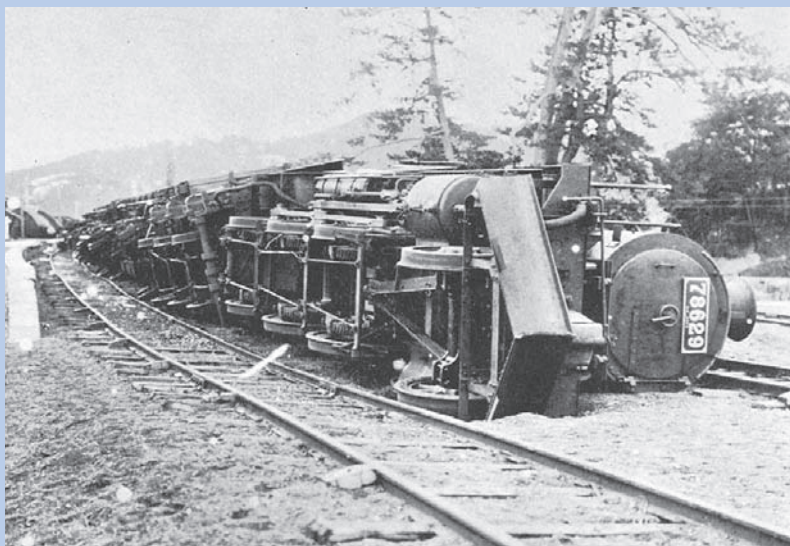
● 地震による被害



地震計の記録



郷村役場



網野駅構内の列車横転

● 断層の位置



国指定天然記念物

郷村断層



京丹後市教育委員会

郷村断層 (国指定天然記念物)

昭和2年3月7日午後6時27分、まだ雪に覆われた丹後地方を大地震（推定マグニチュード7.3）が襲いました。この地震により各地で家屋が全壊・全焼するなどの大きな被害を受け、さらには多くの貴い人命が奪われました。地震の際、現在の京丹後市の網野から峰山を通り大宮に向かって延長18km（郷村断層）、与謝野町の四辻から岩滝に向かって延長7.5km（山田断層）の断層が生じました（裏面「断層の位置」を参照）。

郷村断層は、北より10度西の方向に走っており、西側隆起を伴う左ずれ断層（断層線に向かって立ったとき、断層線より向こう側の地面が相対的に左方向へずれている状態）です。

この断層は、ズレが顕著であるだけでなく、花崗岩を切断し、岩盤に「鏡肌」や「擦痕」をつくっていることから、学術的にも貴重なものとされています。そのため、昭和4年12月に、字郷小字樋口、字郷小字小池、字生野内小字ハシラガ谷の3ヶ所が、当時の村名をとり「郷村断層」として、国の天然記念物に指定されました。

なお、昭和60年には小池地区で地質調査所により、郷村断層の活動性についてのトレンチ調査やボーリング調査が行われています。

● 現在の様子



樋口地区



小池地区



生野内地区

現在、樋口地区では上下のずれ、小池地区では横のずれ、生野内地区では開口亀裂の様子がわかります。

断層の規模

	垂直転位	水平転位
樋口地区	0.60 m	2.75 m
小池地区	0.60 m	2.60 m
生野内地区	0.62 m	1.85 m

● 北丹後地震直後の様子



小池地区



生野内地区